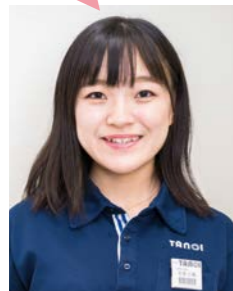


若手社会人が親交を深める せんなん・地域同期会

説明会の後に行われた「せんなん・地域同期会」では、高校生との意見交換に参加した12人の若手社会人が集まりました。意見交換の振り返りを行った後、仙南地域の企業の枠を越えた同年代の社会人のネットワークを作るため、懇親会で交流を深めました。

若手社員の声



株式会社ミヤギタノイ
あきば さら
秋葉 沙羅さん (柴田農林高等学校卒業)

私は、「タップ」と呼ばれるネジ穴に溝を掘るために使う工具を作る会社でお客様に製品をお届けする期日の管理などを担当しています。

高校卒業後は地元で働きたいと思い、先生の紹介で隣町にあるミヤギタノイに就職しました。平均年齢が30代の若い人が多い職場で、優しい先輩や同僚と楽しく働くことができます。休みの日には、友だちとライブや買い物に出かけるなどプライベートも充実しています。高校生のみなさんにも、「充実した毎日を過ごすことができる会社を選んでください」と伝えました。

また、同期会を通して、同年代の人たちと楽しい時間を過ごすことができました。これからは機会があれば集まりたいです。



株式会社コイワイ 宮城工場
ださい いおり
太齊 伊織さん (村田高等学校卒業)

私は、自動車や水上バイクなどの部品をアルミ鋳物で造る会社で、3D金属プリンタのオペレーターとして働いています。この3D金属プリンタは、アルミ粉末から立体を直接造形できる装置です。造形容積は160リットルまで可能で、現時点では日本最大級のサイズとなっています。「この日本最大級の3D金属プリンタを操作できるのは自分だけ!」という誇りを持って毎日頑張っています。

振り返れば、高校生の時にもっと勉強に力を入れて、一日一日を大切に過ごせば良かったなと反省しています。「勉強は、大人になってからも続きます。学ぶ姿勢を大切にしてほしい」と高校生に話しました。

同期会では、仕事の悩みなど話すことができました。みなさんが同じことで悩んでいることを知って、不安を和らげることができて良かったです。



小松ばね工業株式会社 大河原工場
かたひら みちや
片平 美智也さん (白石工業高等学校卒業)

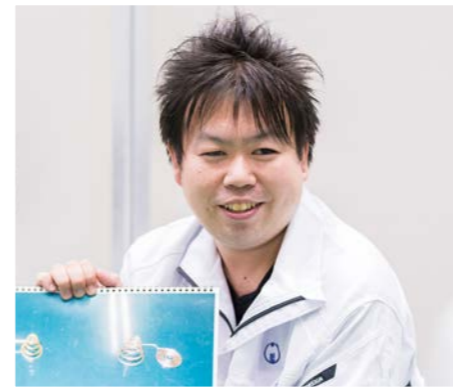
任された仕事を一人で出来た時のやりがいと達成感がたまりません!

高校生 片平さんに聞きます。高校の剣道部で大変だったことはありませんか?

片平 コーチが厳しい方で、練習がきつかったことでしょうか。でも、剣道部で鍛えられたメンタルのおかげで、仕事の苦勞を乗り越えることができているのかなと思います。

高校生 今の仕事にやりがいを感じるのにはどんな時ですか?

片平 任された仕事を一人で出来るようになった時です。



小松ばね工業株式会社 大河原工場
やまだ まさし
山田 将史さん (柴田農林高等学校卒業)

その後、結婚して長男が生まれ、マイホームを購入しました。8月に次男が生まれたばかりで、とても充実した毎日を送っています。

高校生 社会人になって苦労したことはどんな時ですか?

山田 入社1年目で、初めてばねづくりを覚えた時です。高校では経験したことのない作業だけあって、分からないことばかりでした。

山田 私は入社13年目、みなさんと同じ柴田農林高校で学びました。クルマの整備士になる夢を叶えることができず最初は落ち込みました。でも、この会社に入社して4カ月くらいで一つのばねの製造を任せてもらえるようになり、テンションが上がりました。

高校生が 若手社員に聞く!

TOPICS

9月10日に開催された「仙南地域ものづくり企業説明会」の会場で、柴田農林高等学校の2年生が、小松ばね工業株式会社大河原工場(大河原町)の若手社会人から、ものづくり産業の魅力や仕事のやりがいなどについて直接話を聞きました。

様々な製品に使われている「ばね」を作っています

山田 小松ばね工業は、名前の通りばねを作っている会社です。一口に「ばね」と言ってもたくさんの種類があって、使い道によって材料や形状が異なります。

私たちが所属する製造2係では、専用の機械を操作して、「トーションコイル」と呼ばれる種類の製品を作っています。「ねじりばね」とも呼ばれていて、クリップや電池の端子などに使われています。

片平 私は白石工業高校の設備工業科の出身です。部活動で剣道をしていました。高校卒業後にこの会社に入社して、今年で入社5年目になります。

山田 私は入社13年目、みなさんと同じ柴田農林高校で学びました。クルマの整備士になる夢を叶えることができず最初は落ち込みました。でも、この会社に入社して4カ月くらいで一つのばねの製造を任せてもらえるようになり、テンションが上がりました。

その後、結婚して長男が生まれ、マイホームを購入しました。8月に次男が生まれたばかりで、とても充実した毎日を送っています。

高校生 社会人になって苦労したことはどんな時ですか?

山田 入社1年目で、初めてばねづくりを覚えた時です。高校では経験したことのない作業だけあって、分からないことばかりでした。



小松ばね工業のブースには、柴田農林高等学校の生徒が訪れ、若手社会人との意見交換を行った

で大変でした。

片平 私の場合は、細かい材料でばねを作った時です。繊細な材料を使った加工が難しい製品だったので、何度も機械の微調整を繰り返しました。

また、私が就職した時は、歳の離れた先輩しかなくて、上手くコミュニケーションが取れるか心配でした。でも、先輩たちは優しく接してくれましたし、翌年から若手が入社したので、ホッとしています。

高校生 山田さん「イチ押し」のばねがあれば教えてください。

山田 ネームプレートに使われているばねですね。機械に入力するプログラミングにとっても苦労しましたが、その分思い入れがあります。

山田 私たちの会社では、作るばねごとに担当が割り振られていて、ほとんどの工程を一人でやっています。覚えることが多くて最初は大変ですが、慣れてくるととてもやりがいを感じることができる仕事です。

また、私たちが作るばねの中には、火災報知器や医療機器に使われているものもあります。人の命に関わる製品の一部を作る仕事ができるので、誇りに思っています。

山田 最後に、みなさんには「失敗を恐れ

高校生が地元企業への理解を深める
仙南地域ものづくり企業説明会

仙南地域の高校生と企業関係者が一堂に会する「仙南地域ものづくり企業説明会」が9月10日、ホワイトキューブ(白石市)で開催された。同イベントは、仙南地域の高校生が、地元のものづくり企業の事業内容や技術を知り、卒業後の就職先選びの参考にしようことが目的。工業系や農業系高校と普通高校の8校から生徒が参加し、同地域のものづくり企業47社のブースを訪れた。

9回目となる今回は、同地域のものづくり企業で働く若手社会人から直接話を聞くことができるブースも設置。10社12人の若手社会人が、仕事の面白さやものづくり企業の様子などについて、高校生と意見を交わした。

参加した生徒は、「就職したきっかけや仕事での苦労話など、先輩から詳しく聞く事ができて良かった。今後の就職先選びの参考になりました」と話した。



生徒は、若手社会人のブースを含めた4カ所を訪問し、ものづくり企業関係者の話を熱心に聞いた